

- 問1 奈良時代にまとめられた日本最古の歌集で、天皇や貴族から、東国から九州の警備に赴いた防人（さきもり）まで、幅広い層の人々の歌が収められている作品はどれか。 （2020年 岡山県公立入試 類似）
1. 古今和歌集
 2. 新古今和歌集
 3. 万葉集
 4. 竹取物語
- 問2 奈良時代の税制度において、都からの距離と人々に課せられる負担の関係について正しく述べたものはどれですか。都を中心として同心円状に地域の負担を示した資料の内容を踏まえて答えなさい。 （2019年 大分県公立入試 類似）
1. 都に近い地域ほど、特産物を都まで運ぶ往復の移動に日数がかかるため、労役が免除されていた。
 2. 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。
 3. 都に近い地域ほど、都から遠い地域よりも納める特産物の種類が多く指定されていた。
 4. 都に近い地域ほど、収穫した米の一定割合を納める「租」の負担が重くなっていた。
- 問3 日本最古の歌集である万葉集には、東国などから九州の沿岸警備のために派遣された兵士たちが詠んだ「防人の歌（さきもりのうた）」が収録されています。当時の兵士たちが歌の中で表現していた、共通する心情として最も適切なものはどれか。 （2022年 京都府公立入試 類似）
1. 天皇のために命を捧げて戦うことを名誉とする、兵士としての強い決意
 2. 遠い九州の地で、外国の優れた文化を学べることへの期待感
 3. 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ
 4. 都での華やかな生活を懐かしみ、貴族の文化に憧れる優雅な気持ち
- 問4 律令国家の地方支配において、日本列島が多くの「国」に細かく区分されていた地理的状況を踏まえ、当時の行政運用の実態について述べた文を選びなさい。 （2018年 奈良県公立入試 類似）
1. 国司は中央から派遣されるのではなく、その土地に古くから住む豪族が世襲でその地位を独占し続けた。
 2. 九州から東北まで、すべての地域に太政官の出張機関である八省の支局を置き、官僚が直接農作業を指導した。
 3. 各地方の境界線は明確ではなく、地域の有力者が地頭として独自の判断で境界を定めていた。
 4. 中央政府からの命令を全国へ一貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。
- 問5 8世紀の日本では、戸籍に基づいて人々に口分田を割り当てる制度が行われていましたが、人口の増加によって分け与える土地が不足する事態となりました。政府がこの土地不足を解消するために743年に制定した、新たに開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法令はどれですか。 （2021年 福島県公立入試 類似）
1. 墾田永年私財法
 2. 大宝律令
 3. 三世一身の法
 4. 班田収授法
- 問6 奈良時代の743年に制定された、新しく自分で開墾した土地を永久に自分のものにすることを認める法律を何といいますか。 （2018年 山形県公立入試 類似）
1. 班田収授の法
 2. 三世一身の法
 3. 墾田永年私財法
 4. 大宝律令
- 問7 ある僧侶を紹介する文章に、「わが国への渡航に何度も失敗して視力を失ったが、苦難の末に來日し、正しい仏教の教えを伝えた【 】の僧侶。」という記述がある場合、空欄に当てはまる当時の中国の王朝名として最も適切なものを選びなさい。 （2019年 北海道公立入試 類似）
1. 宋
 2. 隋
 3. 元
 4. 唐
- 問8 律令国家において、「班田収授法」に基づき人々に与えられた「口分田」の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。 （2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。
 2. 有力な貴族や寺院に対してのみ与えられ、その収穫はすべて個人の利益となった。
 3. 新しく土地を開墾した者に与えられ、その者の私有地として永久に所有することが認められた。
 4. 戸籍に登録された15歳以上の男子のみに与えられ、子孫が代々受け継ぐことができた。
- 問9 奈良の正倉院に保管されている宝物や、福岡市の遺跡周辺から発見された出土品の中には、古代のローマやペルシャで製造されたと考えられるガラス製容器が含まれています。これらの品々が日本で見つかる理由を説明したものとして、正しいものはどれですか。 （2023年 大分県公立入試 類似）
1. 日本独自のガラス製造技術が極めて高く、古代から西方へ輸出されていたため
 2. モンゴル帝国の軍隊が日本に侵攻した際、西方の工芸品を大量に持ち込んだため
 3. 遣唐使が廃止されたことで、日本が西方の国々と直接的な軍事同盟を結んだため
 4. シルクロードを通じた東西交流により、西方の文化が東方へと伝播したため
- 問10 明治政府が組織を整えていく過程で、行政の最高意思決定を行う「正院」、法案の審議を行う「左院」、各省の調整を行う「右院」の三院が設置されました。これらの三院を統括する位置にあり、古代の律令制に倣って名付けられた最高機関の名称として正しいものを選びなさい。 （2020年 山形県公立入試 類似）
1. 枢密院
 2. 太政官
 3. 議定
 4. 参議
- 問11 墾田永年私財法が制定されたことによって、それまでの「公地公民」の原則に基づいた土地制度にどのような変化が生じましたか。その歴史的な影響として最も適切な説明を選びなさい。 （2021年 福島県公立入試 類似）
1. 土地を所有する権利が農民に平等に与えられたことで、貴族の権力が弱まり、武士が台頭するきっかけとなった。
 2. すべての土地を国が管理する方針が強化され、農民への口分田の割り当てがより厳格に行われるようになった。
 3. 土地の永代私有が認められたことで、貴族や寺社による大規模な私有地が形成され、公地公民制が崩れ始めた。
 4. 土地の売買が完全に自由化されたため、貧富の差がなくなり、班田収授の法が円滑に運用されるようになった。
- 問12 743年に制定された墾田永年私財法が、その後の日本の社会に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 （2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 全ての土地を国家が管理する公地公民の原則がより強固になり、農民には一定の土地が平等に割り振られる班田収授の仕組みが完成した。
 2. 全国規模の土地調査が行われるようになり、土地の広さや収穫量を石高という単位で統一して管理する仕組みへと変化した。
 3. 開墾した土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社は勢力を広げるため大規模な開墾を進め、荘園と呼ばれる私有地が形成されるきっかけとなった。
 4. 土地の所有権が三世代に限定されたため、農民たちは返還時期が近づくにつれて働く意欲を失い、かえって土地の荒廃が進む原因となった。
- 問13 律令国家の仕組みにおいて、6歳以上のすべての人々に戸籍に基づいて割り当てられた土地を何と呼びますか。 （2017年 岡山県公立入試 類似）
1. 領地
 2. 口分田
 3. 墾田
 4. 名田